

No. 1656

沖縄復帰20周年式典

— 東京 —

沖縄復帰20周年記念式典が5月15日東京憲政記念会館で天皇・皇后両陛下御出席のもとに行われました。宮沢首相は「沖縄返還を平和の確証の証」と評価。クェール米副大統領は「全世界の平和と繁栄を祈る」と述べました。天皇陛下のお言葉「沖縄県民の経て来た過去に思いを致すとともに豊かな未来が沖縄県に築かれることを切に望みます」。続いて夜は民間実行委員会によるレセプションがホテルオークラで開かれ沖縄返還にゆかりのある日米の関係者が多数出席しました。沖縄には現在も本島の面積の20%にあたる米軍基地があり低い年金、高い失業率など本土との格差も縮まっておらず難問は未解決のまま。沖縄の基本的問題について正面から検討する時期に来ていると言えそうです。

夏を前に

— 静岡・山梨 —

手軽に家族や仲間と自然を満喫できるオートキャンプが脚光を浴びています。富士山のすその標高600メートル、静岡県裾野市須山にある「大野路ファミリーキャンプ場」は3万平方メートルの緑の芝生が売り物。車300台が収容でき朝10時から予約なしで受け付けるとあって若い家族づれに人気を呼んでいます。昭和46年千葉県大原に収容車両120台で開設されたのがオートキャンプ場第一号。いまでは全国に200ヶ所をかぞえ利用者ものべ1千万人といわれる増加ぶりです。この人気に刺激されてか外車販売業者が本栖湖の側にデラックスな欧米型オートキャンプ場を4月に開業しました。1台1300万円もするキャンピングカー8台が常備され内部設計もシティホテル並みの贅沢さです。1台1日2万円の料金でも国内各地からの予約で一杯とか。また個人所有の豪華キャンピングカーで乗りつける客も珍しくないようです。山梨県の「西湖レイクサイドキャンプ村」は一般的なファミリーキャンプ場。湖のそばまで車を乗り入れ釣りやウィンドサーフィンにアウトドアライフを楽しんでいます。昨年は西湖の異常出水で水没したトレーラーハウスも改装され宿泊料金も手頃とあって学生や若者グループが目立っています。自らの手でテントを張り料理を作る生活は都会では味わえないもの。自然の中で遊び、食べ、語り合う醍醐味。夏を前にしてオートキャンプのブームが始まったようです。